

2013年度

事業報告書（概要版）

自 2013年 4月 1日

至 2014年 3月31日

一般財団法人大阪湾ベイエリア開発推進機構

## はじめに

2013年は、日本経済の潮目が大きく変わった1年であった。アベノミクス効果で為替や株価が好転し、関西でも生産や輸出が順調に回復した。グランフロント大阪やあべのハルカスの開業効果もあり、消費は堅調な伸びを見せた。

当法人の実施事業に関連する分野でも顕著な回復や伸びが見られる。訪日外国人旅行者数は昨年初めて1千万人を超え、関西国際空港の国際線外国人旅客も大幅に伸び過去最高を記録した。文化振興の面では、「関西文化の日」の参加施設数・利用者数ともに過去最多となり、利用者数の累計は300万人を突破した。更に、「KANSAI 国際観光 YEAR2013」に協力してPRに取り組んだ「和食」は、ユネスコの「無形文化遺産」に登録された。「関西から日本を元気にする」という当法人の継続的な活動が、こうした成果に貢献できたと考える。

本事業報告は、当法人が実施した2013年度の取り組みについて、主要な結果ならびにその成果を報告するものである。

## I 管理運営活動

### 1 理事会・評議員会等

#### (1) 理事会

##### ・第1回理事会

2013年5月21日（火） 於 リーガロイヤルNCB

第1号議案：2012年度事業報告書（案）の承認の件

第2号議案：2012年度計算書類等（案）の承認の件

第3号議案：公益目的支出計画実施報告書（案）の承認の件

第4号議案：評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の承認の件

##### ・第1回臨時理事会（決議の省略）

2013年6月7日（金）

第1号議案：会長の選定の件

第2号議案：常務理事の選定及び事務局長の選任の件

##### ・第2回臨時理事会（決議の省略）

2014年2月28日（金）

第1号議案：評議員会の決議の省略の件

第2号議案：評議員会の決議事項の件

・西野博之理事の後任を大瀧洋氏に決定

・荒川敦評議員の後任を西嶋栄治氏に決定

##### ・第2回理事会

2014年3月28日（金） 於 リーガロイヤルNCB

第1号議案：2014年度事業計画書（案）の承認の件

第2号議案：2014年度収支予算書（案）の承認の件

## (2) 評議員会

- ・ 第1回評議員会

2013年6月7日（金） 於 リーガロイヤルNCB

第1号議案：2012年度計算書類等（案）の承認の件

第2号議案：理事及び監事の選任の件（案）

- ・ 第1回臨時評議員会（決議の省略）

2014年3月14日（金）

第1号議案：理事1名選任の件（大瀧洋氏）

第2号議案：評議員1名選任の件（西嶋栄治氏）

## (3) 運営会議

- ・ 第1回 2013年5月2日（木） 於 当法人会議室

- ・ 第2回 2014年2月18日（火） 於 当法人会議室

## 2 会員関係

関西地域の益々の振興に向け、当法人の一層の発展を図るため、財団法人大阪湾ベイエリア開発推進機構（特例民法法人）及び関西広域機構において協力いただいた法人を始め、実施事業・管理運営で関係のある企業・団体から支援を頂戴できるよう、当法人の会員として登録いただいている。会員企業・団体に対しては、当法人の2013年度事業計画書・収支予算書や、2012年度事業報告書・計算書類等を送付するとともに、説明会、講演会、視察会など主催行事の案内も行い、事業活動についての情報提供を実施した。

当年度も、実施事業・運営管理において密接な関係を有する企業・団体に対し会員登録をお願いし、新たに20箇所から会員登録をいただいた。

## II 関西地域に係る地域振興事業

### 1 国際観光事業

当法人の国際観光事業では、海外での観光プロモーション、海外の旅行業関係者を関西各地へ招聘する視察旅行（ファムトリップ）などの商品造成促進と、インバウンド情報の収集・分析・発信等を行うマーケティング活動に取り組んでいる。当年度は、海外プロモーションを合計8回、ファムトリップを合計で36回実施した。このうち、旅行代理店等を招聘するファムトリップ（エージェントファム）では、1回あたり平均で3.3府県市を視察し、複数の府県市を訪問・宿泊する連泊の旅行コースとして関西の魅力を提案した。

当年度は、相手国・地域の多様なニーズへ一層的確に対応するため、これまでの大商談会に替わる地域密着型商談会の導入、東南アジア市場での活動強化、新たなテーマや手法によるファムトリップ等に注力した。地域での商談会は合計で38回開催し、参加

者から「現地で見るとツアー商品化のイメージがわく」「宿泊価格等の具体的な条件交渉が可能となり有益」などの評価が聞かれ、大いなる手ごたえを感じた。また、東南アジアの旅行博では、関西観光ブースに多数の来場者を迎える盛況振りで、関西を大いにPRすることができた。

更に、2013年には「KANSAI 国際観光 YEAR2013」が展開されたことから、これを関西への誘客促進の絶好の機会ととらえ、世界に誇る「関西の食文化」のプロモーション、「13 食博覧会・大阪」(食博)を活用した観光PR・ファムトリップを実施し、訪問外国人観光客の増加に最大限取り組んだ。実施した全36回のファムトリップのうち、20回が食をテーマとしたものとなっている。

## 2 文化振興事業

「関西文化の日」ならびに「関西元気文化圏」の2事業は、関西圏域の風格を高めその魅力を圏域内外に広めるため、個性豊かで質の高い文化の発信に取り組んできており、活発に文化創造活動が行われ文化に身近に触れられる風土をさらに育む環境づくりを促進している。

関西の官民が連携する文化力発信事業として定着したこれらの事業について、当年度も、一層のPR強化及び実施内容の更なる拡充を図りながら引き続き実施した。

## 3 情報発信事業

関西に関する情報を国内外へ発信するため、関西情報のポータルサイト Kansai Window ならびに外国特派員プレスツアーに取り組んだ。当年度は、「KANSAI 国際観光 YEAR 2013」を海外向け情報発信の好機ととらえ、世界に誇る「食文化」や食博などの情報を Kansai Window 上でタイムリーに発信するとともに、関西の食をテーマにしたプレスツアー1回を追加で実施した。

## Ⅲ 大阪湾ベイエリアの開発に係る調査研究等事業

大阪湾ベイエリアの開発に係る調査研究等事業(ベイエリア事業)においては、前身の財団法人大阪湾ベイエリア開発推進機構以来20年の歴史を有する調査研究、一般の市民とふれあう活動である「なぎさ海道」推進、ならびにこれら2事業の成果PRと情報開示を行う広報活動について、各々の取り組みをより一層強化して実施した。

以上